

※ 当社掲載の企業一覧です。各社のサイトにこの画面より直接みられます。マウスをグレーパナーに近づけますと直アドが現れます。ご参照願えれば幸いです。

	http://www.chubu-jc.co.jp/
	http://www.a-factory.com/
	http://www.aiu.co.jp/
	http://www.imamura.co.jp/
	http://www.kankyo.co.jp/
	http://www.ozuna.co.jp/
	http://www.ishikawa-ad.co.jp/
	http://www.rect-zone.co.jp/
	http://www.meyukin.com/

- 日本国債の認識
- 健全なシステムとは？
- 近々報告
- 
- 
- 
- 
- 
- 



日本国債の認識

結局日本を救うのは、マネーサプライ によって日銀が沢山お金をすれば

いいはずとの結論が見識あるコメントとされております(日本銀行関連統計)

現在の世の中は金融商品というものであふれており様々なテクノロジーによって实体经济をゆり動かしています。

自分は長い間物価は上がるもの毎年ほしい物の値段は上昇していきました。それはこの国が上り上昇を続けて成長企業が沢山生まれ豊さを継続してきたからです。緩やかなインフレであればお金の循環が消費先行になっていきます。資料を見ていくと企業が設備投資に力を入れるのでより質の高い競争力のある優秀な形態でいられます。よく国民感情という表現をしますがふつうは、企業の健全化などわからなし興味もない。それどころかモノの値段が上がるくらいならますます安くなる今の状況のほうがしっくりくるというのが本音なのかもしれません。ある番組で液晶テレビ設計開発部の様子が放送されていたのですが、凄く良くわかった事がありました。

技術者の会話の様子

「で、その技術で色彩\*\*\*のレンジが変わるのはわかったがそのまま回路をラインに乗せる方法を早く明快にしてくれ。それとその分何処かの予算を落とさないといけない。その事は考えてあるのか？」

「そうじゃなかったら絵に書いた餅になるぞ」

「\*\*\*社に何処まで値段落とせるか交渉してくれ」

某メーカー技術者の何気ない様子に見えますがここではっきりわかることがあります。

TVの液晶メーカーの開発は、日本ではもう数社しか行っていません。その数少ない中の1つの会社がこのような状況です。

このような状況というのは技術的な開発及び製品にするための開発設備に対しての時間もお金も余裕がないということです。それはなぜデフレデフレといわれるなか自国の国債の金利が上がらいいのだろうか？

そういう疑問とも関わり合いがありそうです。

日本の銀行を使って円のお金を沢山借りて設備投資する時期なのに年々設備投資(円での)を拒む傾向が進んだのはなぜでしょうか？

よくギリシャ可する日本と言いますが？

(ここでのコメントは、自分なりに沢山のコメントの中からまとめたものです。) ※ユーロについて

ここでIRコメント例(若林栄四)さん

まー化けの皮がはがれたという事でしょうね

出来た時からユーロなんであんなものは可笑しいと思ってました。

ギリシャ問題もありますが、いろいろやってみても最終的に問題解決できないですね。お金を一生懸命出してみてもやっぱりどこかではたがたする。その場でパッチワイクでいろいろおさえるだけでも 根本的なところでは解決しないから 結局2013年7月1日から新しいシステムになるんです

ESMという制度が新しくはじまるのですけれどそこでデフォルトというのが公式に認定される形に成りますので そこへ向けてユーロは、凄く下がると思います。 1割れだと思えます。

※ ピンク色下白線の部分はマウスを近づけますと直アドレスがでますので左クリックでアクセスしますと詳しい情報などが見られます 詳細サイトを見た後は画面を消すと全て切断されてしまいますので右クリックで前の戻るか、左上矢印で1ページ前に戻って下さい。

2011年8月17日

ここでIRコメント例(若林栄四)さん 続き

やっぱりこのままでは、ユーロは、だめだということですね。

まー1度ユーロは、いいとこ行きましたので、ピーク上いきましたので

あとは13年くらいだめですね相場というものは波動ですから。

日経平均なんかもピークつけて89年から2003年まで下がり続けましたから。

ユーロは、2008年ピークですから2020年くらいまでだめです。

※ドル円について

いったんドルの切り替えしがあるのですが 最後の円高というものをみてい

るんです。(このコメントは、6月17日のものです) たぶん来年の2月ごろは

74円まで行くかもしれません。

それでしかし為替相場の円バブルというのは終わる。という事です。

円のバブルというのは、ニクソンショックの時から40年間やっていますので

1971年からですから大体40年くらいで相場といのは終わってしまう。

その後13年くらいは逆にいきます。2025年くらいまでは、円安にすくなく

ともなる。震災の後買われた76円といのがありますが 日柄 が3月は来て

ませんので 株は、ここで底とみた日柄がありましたが無替は弱くて日柄とは

いえなくもう一度底をついてくるそれが来年2月頃とみています。

なぜ今デフレなのかという事ですが、スパイラルになっているデフレだから

円高円高だからデフレとなっているわけですが、それも永遠デフレに

はなりません。必ず終わりが来る。終結にはいろんな条件があるわけですが

日本の場合には日本銀行という人たちがいるわけですが

この人達が決してインフレにしたいと。その辺は パーナンキ さんとは

全然違う。日本の中央銀行ていうのがデフレでも結構みたいな感じがあつて

だからそういう事で金融政策でインフレにもっていくのは 難しい

じゃいったい何がデフレを終らせるのかというと40年間続いた円高

バブルが終わる。 為替相場は経済の変数ではなくて相場

なんです。相場だから必ず底があるはずなんです。 経済の変数だと経済が

デフレだとズートデフレが続き円高になっちゃう。

日本銀行がやってくれない分 為替相場が日本のデフレから脱出させてくれます。

というのが僕(若林栄四)のストーリーですけど。

若林栄四さんのコメントにあるように 国の資産というものは相場の世界から

逃れることはできず見ようによれば欲望にうずまいた相場という世界で

荒野の中で刀を振りまわさなければいけない運命を、世界中の国が持っている

ということです。近々の出来事 アメリカのデフォルトも自国の国債の格下げも

だれも驚きません。ドルキャリの世の中で だれもが言いたいこと アメリカは

裸の王様だーと言った 瞬間自国のはしごがはずされるからです。

昔自民党政権時代の橋本前首相はアメリカ国債を売る事をほのめかした途端

ドルはクウゼンの暴落だったそうです。 ドルが暴落するという事は日本の

株が暴落し円高になるということです。別参照：1(中川財務大臣時代に一)

国債というのはもっとも安定した投資対象とされています。

しかし異国の国債を買う時は為替相場をくぐりゆかなければなりません。

それどころか買った時の紙幣の価値は価格だけが条件ではありません。

その時の紙幣は時代によっていろいろな性格があります。

紙幣に関しては 兌換紙幣 とか 不換紙幣 など真逆の性質があり

ウラズケとよばれるものがついています。それに加え国が潰れるか否かを

指数にして表し商いになっています。 CDS債

参考までに日本のCDS指数

若林栄四氏によれば ユーロ通貨は皆が健康な時はいいが、どこかの国が

病気になった時に破たんする。どの国であっても健全でいられる月日というのは

長くないものなのです。みんなが笑顔で手を繋ぎながら片方の手は拳銃をたがいの

こめかみにあてています。だれかが引き金をひけば繋ぎ合った手の仲間が

連鎖で引き金を引くことになります。市場経済で暮らす以上ある程度貿易国

として仲間にはいるためには基軸貨幣というはしごにのぼり踊り舞台がかさ

上げされた高台であることを自覚します。いったいこののぼり舞台でどんな

正論を歌えばいいのでしょうか。こうやってみてみれば何かの冗談のような事

ですが、果たしてアメリカという国がそんなにもでたらめなのかとも思います。

企業を見ればアジアの国々に散乱する子供だましのような会社も理論も

アメリカで受け入れなどされていないのですから？ アメリカの金融技術は、

宇宙開発に受じていた人が沢山います。もともとの土台がそうなのに

これは、究極のパロディーです。

NO, 3

NO, 4

NO, 5

📍 2011年8月17日 📍

健全なシステムとは

コンピューターでシステムに支障があれば起動すらしないようになって  
いますね。どのような構造でシステム管理されているのかわかりませんが、  
凄いですね。コンピューターの中ではパーフェクトなシステム管理ですが、  
人間の世界はそうはいかないですね。

何か目的が明快なものはいいいですがほとんどの場合システムは応用として  
使用されるはずですね。ここで自分が光をあてて見ていきたい事柄は、  
システム管理における定義思想です。

※物流ではより多くのものを沢山早く正確に指定時間に運ぶシステム。

※通信ではより遠くに鮮明で安定した情報が届くようにするためのシステム。

※さまざまなインフラ機能のためのシステム。このように洗練された  
システムとともに人々が暮らせてますます人類も洗練され進歩していく

のですね。システムの語源は(個々のものを)全体として統合すると  
か結合するといった意味だそうです。コンピューターの場合システムエラー  
というレベル設定がありますがそのレベル前に作成されたアプリソフトとの  
関係でバグといわれる正常に機能しない部分がでるみたいです。その補正の  
仕方の1つとしてコーディング技法がバグをなくす方法のようですね。

資料をみて何の事だかわかりませんが凝視して何度も見ていくと何か得ら  
れるものがありました。余談ですが自分は長年オーディオをやってきて

感じる事があります。それは人間の心と電気の特性は良く似てるんです。  
ですから電気機器として素晴らしいものは、内部のなかにはいって電気の  
動きをもし人間が行っていったらとシミレーションしてみます。 NO, 6

バグをなくすコーディング技法をみて少し感じたこと。

ここで少し感じるのはコンピューターの中で行われていることのイメージです。  
ある人が部屋から部屋へ入っていきます。その人は沢山の  
問いをもって部屋に入るたびにその道の達人と言われる人がいて  
問いに答えてくれます。そしてまた別の部屋にいて答えをもらって  
進んでいく。最後にえられた知識を発表する。そんなイメージがわきました  
そのように見るとコーディング技法が、互いの人間のコミュニケーションの  
潤滑にあてはめられ面白い見方が出来ますね。各部屋の部署を明快に複雑な  
用語を避け問者が迷わないようにする。又部屋の中は、単数で複数にしない。  
似たような問いかけ内容の枠を隣に置いたりせず問いの答えの迷いをさける。  
など、また問いかけにたいして答えがえられなかった場合の経路のメモや  
タグが書き込まれる。しかし名前の横などに貼り付けなどせず書き場所に注意し  
数の乱用をさける。など面白いと思いました。

ここで見るコアな部分は何か誠意と慈愛のようなものがシステムの世界では  
無くてわならないもののようにみえます。1つの思想形態がそこにあるように  
みえるのですが？最初に沢山の問いかけを持った少年が、沢山の大人たち  
からいろんなアドバイスを貰い成長していく。迷った時の事柄も表され何に  
迷ったかもみまもられ、また道筋ではつまづかないよう沢山の工夫思いやり  
がありこれは素晴らしいと見えました。まさに道です。

近々報告

色々な方のアドバイスもあって業務提携などを示唆しています。

ソーシャルな意味合いでも互いのビジョンがかなうよう願っています。

ここでは完全に商談や業務提携が正式に決まるまでは、個人名や会社名は  
ご迷惑がかからないように控えさせていただきます。ご信頼できる会社や  
企業はご覧のHP内で取り上げたりバーナーでご紹介しています。

ご慈愛のあるご紹介を下さった方に大変感謝しています。

これからも宜しくお願いいたします。

沢山のアドバイスお待ちしてます。(TEL 076-251-1947)

ゲストイベント参加させてもらった会合 参照いただければと思います。

守成クラブ金沢南・白山第6回例会

関連HP — <http://www.syusei-kanazawa.com/index.html>

金沢市北倫理法人会 (早川周作氏セミナー及び懇談会)

関連HP — <http://rinri-ishikawa.com/index.html>

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

📍 2011年8月17日 📍

NO, 7

NO, 8